

怪しきことを云べし此前後の事ども古写本中を収り
今定家卿鷹三百首とくせり行々板本中を惣載り
歌数三百五十四首あり古写本中を三百十二首とのを群書
類聚の塙板の本中を三百五十二首とありと世は行々板
本とちがひ異同もさして此等塙本中を収り人ともひ人と
しるものをもとに入るべきものむかひもさしひききるもの
てあつたものとせむべきものなり

われもかりとれ小室のみちしもの志はうらうらに宿るのさあ
古詩よそのの淡くうらふてあるは宿るをいつてハ親よりさあ
事く紅の涙を流し流し鞭あくおちるさあと近くあるそのさあ